



▲表彰楯を手にする永吉管理者

永吉正和・市病院事業管理者が地域医療貢献奨励賞を受賞

地域医療の充実に尽力

市立病院・診療所を統括する市病院事業管理者で、河浦病院院長を兼務している永吉正和管理者（ながよしまさかず）が2月18日、第5回地域医療貢献奨励賞を受賞しました。この賞は、国内において地域医療の確保と向上に尽力する医師の顕彰を目的に、（財）住友生命社会福祉事業団が設けているもの。今回は、永吉管理者を含む8人が受賞しました。永吉管理者は、平成14年に旧河浦町立河浦病院院長として着任され、同22年には同管理者に就任。永年にわたり、地域医療の充実に尽力された点が、高い評価を受けました。永吉管理者は、「職員全員の代表として受けた」と話していました。



▲息の合った演奏を披露する大学生たち

天草風あげ大会

さまざまな^{たこ}風が空を舞う

3月3日、天草風の会主催の「第9回天草風あげ大会」が、本渡町広瀬にある大矢崎緑地公園で開かれ、同会や熊本・長崎県の風愛好会など約300人が参加しました。

この日は青空が広がり、風もほどよく吹くなど絶好の風あげびよりで、愛好会の皆さんが製作したバラモン風や連風、角風などが空高くあげられたほか、訪れた人たちもいっしょになって風あげを楽しんでいました。また、会場では豚汁やおにぎりなどがふるまわれ、参加者はおいしい料理に舌鼓を打っていました。



▲大空に向かってバラモン風をあげる参加者

アカペラコンサート

声で奏でるハーモニーに酔いしれて！

2月26日、“天草海道博スペシャルイベント あまくさロマンテックファンタジーの最後を飾る、「アカペラコンサート」が天草市民センターホールで開催され、九州大学や立教大学（東京都）など6大学・11組が参加しました。『アカペラ』とは無伴奏の合唱で、歌はもとより楽器の演奏もすべて人の声によるもの。大学生たちがみずから演出を行った公演では、天草で初めて聞く絶妙で感動的なハーモニーに、約1,400人の観客は熱心に聞き入っていました。

全国青年・女性漁業者交流大会

御所浦

御所浦町漁協女性部の活動が水産庁長官賞！

御所浦町漁協女性部の井坂りかさんが3月1・2日、JF全漁連主催の「第17回全国青年・女性漁業者交流大会」（東京都）の地域活性化部門に県代表として出場し、2位にあたる水産庁長官賞を受賞しました。大会で井坂さんは、同部で行っている地元でとれた売り物にならない雑魚で製造した、魚のすり身の全国販売などについて発表し、その取り組みが高い評価を得たものです。井坂さんは、「今後も御所浦のおいしい魚を発信したい」と話していました。



▲同漁協女性部の皆さん（井坂さんは左から3人目）

「栖本町高齢者福祉マップ」を発行

栖本

介護に関する悩みや問題解決に向けて

栖本地区振興会では4月1日、町内の医療機関や福祉施設等の連絡先、業務内容などをわかりやすく紹介した「栖本町高齢者福祉マップ」を発行し、町内の全世帯に配布します。これは、地元の福祉関係者で構成する同振興会のプロジェクトチーム“栖本こころプロジェクト”が、住民の介護に関する悩みや問題に対応しようと企画・制作したもの。同プロジェクト代表の金田順子さんは、「目立つ場所に掲示され、ぜひ活用してほしい」と話していました。



▲「栖本町高齢者福祉マップ」を手にする金田さん

旧本渡市青年団が本渡地区内10の地区振興会に寄付金を贈呈

本渡

青年育成に役立ててほしい

旧本渡市青年団が3月9日、本渡地区内10の地区振興会に寄付金を贈呈しました。これは同青年団が、事務所建設のために積み立てていた基金の一部120万円を、青年育成に役立ててもらおうと寄付したものです。この日は、天草市民センターで開かれた本渡まちづくり講演会に先立ち贈呈式が行われ、同青年団の昭和56年度会長・松坂政幸さんから、10の地区振興会を代表して本渡南地区振興会・海江田雅靖会長へ寄付金を手渡されました。



▲松坂さん（左）から寄付金を受け取る海江田会長（右）

宮田地区海岸清掃作業

倉岳

海を望む道沿いをきれいに！

宮田地区振興会では3月4日、役員など20人が参加して地区内を通る道路沿いの清掃作業を行いました。この日は小雨が降る中、参加者は海岸に面した道路約3kmにわたって、放置されたカンやビンを拾うなどの作業を実施。同18日にこの道路をコースとする同会主催の「宮田地区ペアマラソン大会」の開催を控える中、参加者は熱心に取り組んでいました。なお、同大会には200組400人が出場。選手たちは、きれいになったコースを快走していました。



▲作業を行う役員の皆さん